

四旬節第二主日（主日の福音を中心とする「霊的な読書」）

（一）聖書朗読

マタイ 17：1-9

イエスはペトロ、ヤコブとヨハネだけを連れて、山に登られた。イエスは、彼らの目の前で顔が変わり、服が光のように白くなった。モーセとエリヤも現れ、イエスと語り合っていた。ペトロが彼らのために三つの仮小屋を建てようと言った際に、雲が使徒達を覆い、さらに雲の中から声が聞こえた。「これは私の愛する子、私の心に適うもの。これに聞け。」イエスは、「人の子が死者の中から復活するまでに、今見たことを誰にも話してはならない」と使徒達に言った。

（二）カテキズムの響き（カトリック教会のカテキズムの番号；YOUCAT #93）

#256, 554-556, 2602

ペトロがイエスをメシア、いける神の子であると告白した時から、イエスはご自分が必ずエルサレムに行って、苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっていると弟子に打ち明け始められました。しかし、ペトロはこの言葉を受け入れず、他の弟子たちもこの言葉を理解できませんでした。これを背景にして、イエスはある高い山の上で、選んだ三人の使徒たちであるペトロ、ヤコブ、ヨハネの前で、変容を行われました。イエスの顔と衣服はまばゆいばかりに輝き、モーセとエリヤが現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について話していました。その時、三人の使徒たちは雲に覆われ、これは私の子、選ばれた者。これに聞けと言う声が天から聞こえました。つかの間、イエスは神的栄光を示し、ペトロの信仰告白を裏づけられるたげではなく、栄光に入るには、エルサレムで十字架を経なければならぬことを示されます。かつて、モーセとエリヤは山上で神の栄光を見、今、律法と預言者の代表として、メシアの受難が御父のみ心によるものであり、御子が神の僕である行動し、雲が聖霊が臨んでおられることを示します。聖三位の三者がそろって現れました。

イエスの洗礼もそう言う意味を表し、私たちの第一の再生の神秘が明らかにされました。実は、洗礼そのものは父と子と聖霊への信仰宣言です。水の中に入れ、引き上げることは、唯一の、全能の神を授けます。典礼と祈りによって、三位が私をその光輝で覆ってしまわれます。唯一の神が私を捕らえてしまわれます。主の変容は私たちの復活である第二の再生を示す秘跡です。私たちはすでに今、キリストの体の諸秘蹟のうちで働かれる聖霊によって、主の復活にあずかります。イエスはしばしば、祈るために一人で山に退かれます。イエスは、ご自分の兄弟たちのありのままを自ら担われ、兄弟たちの弱さを憐れみ、そこから解放しようとなさるのです。このためにこそ、御父は御子を派遣されたのです。イエスの言葉と行いは、隠れた所でささげられるご自分の祈りを目に見える形で表されたものだといえるでしょう。主の変容は、キリストの再臨を前もって私たちに味わわせ、私たちの卑しい体を変えてくださいます。私たちはペトロのように山上でキリストとともに暮らそうと望みましたが、キリストは、地上で労苦し、仕え、軽蔑され、十字架につけられるために下りなさいと私たちにこう言われます。

（三）カテキズムの学び（『コンペンディウム』カトリック・カテキズム要約の番号）

#110 変容において、まず三位一体がお現れになります。主の栄光をもらえ、卑しい体を変えるために、イエスのように十字架を通し、死と復活を経なければなりません。

最後の祈り：

聖なる父よ、あなたは「愛する子に聞け」とお命じになりました。み言葉によって私達を養って下さい。信仰の目が清められてあなたの仰ぎ見る事が出来ますように。聖霊の交わりの中で、あなたと共に世々に生き、支配しておられる御子、私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。